



選抜()について

先月行った進路希望調査を整理していて、選抜 受検希望者の多さにびっくりしています。その高校にどうしても入学したいという希望の表れだと思いますが、本当に選抜 を受検することが自分の希望を実現することにつながるのか、よく考えてほしいです。

選抜 の受検希望者は、

公立高校を受検する機会が増える、

合格すると受験勉強から解放されるとともに、私立高校を受検する必要がなくなるから、保護者の経済的負担が減る、

と考えて希望するのでしょうか。ただし、 については機会が増えるだけで合格する可能性が高くなるわけではありません。選抜 においても、12月段階での調査書も合否に影響します。しかも、例年競争率は選抜 よりも高く、選抜 よりハイレベルな争いになります。つまり、選抜 で合格する人は、選抜 でも合格すると考えられます。

さらに、選抜 を受検する場合は以下のことも考えなければなりません。

小論文などに対する備えが必要である、

選抜 は2月3日に実施されるが、その直前にある後期期末試験の準備もしなければならない、

選抜 に不合格になった場合、早く気持ちを切り替えて、私立一般入試や選抜 に備えなければならない、保護者は、選抜 の発表当日に私立一般の手続きをしなければならない、

たとえ合格しても勉強は頑張っておかないと、選抜 受検者は必死で頑張っているのだから、高校入学後に出遅れることになる、

については、中学校でも面接と併せて指導しますが、どの高校の小論文も難しいです。教科の知識は基本事項として必ず必要です。問題文が英語の長文だったり、面接の受け答えを英語で行う学校もあります。グラフを読み取る問題は、数学や社会、理科の力が必要です。なによりも、問題文を読み取ったり自分の考えを表現する力は国語でしょう。『東日本大震災』など、その時々話題になったことがらが出題される場合があるので、普段からニュースに興味を持っておくことも必要です。

また、 については、3年の後期期末試験の結果が選抜 の調査書に影響します。したがって、公立高校を希望するものにとっては十分な準備をしておくべきですが、選抜 のことも考えると試験勉強に集中できるでしょうか。できなければ、選抜 を受検したために選抜 の合格の可能性が低くなります。最後の 、 は当然のことで、これができない人は選抜 はあきらめた方がいいでしょう。

選抜 は、受検資格がある人にとっては選択肢の一つとして考えてもいいですが、以上のことをふまえしっかりと決意を固めてから臨んでください。